

資格取得ガイドブック2026

作成：スポーツ科学部 民間資格委員会

本学部ではカリキュラムを通じて、様々な資格が取得もしくは受験資格を得ることができます。各資格の内容を確認の上、取得を目指す場合は、カリキュラムを確認して、必要な単位を修得してください。

取得できる資格の種類

資格名	問合せ先
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（スポーツコーチングリーダー・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネジャー・コーチ3（水泳）・コーチ3（ホッケー））	スポーツ科学部棟事務室
パラスポーツ指導員	
トレーニング指導者（JATI）	
健康運動指導士	
健康運動実践指導者	
JPSUスポーツトレーナー	
JFA公認Cライセンス	
LNTレベル1インストラクター	

※ スポーツ科学部で取得できる資格に関する授業科目名は、教育課程表の変更に伴って変更される場合があります。詳細については、スポーツ科学部（民間資格取得委員会）が開催する「民間資格説明会」等で、スポーツ科学部教員に相談してください。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

(1) 公認スポーツ指導者とは（資格の種類）

公認スポーツ指導者とは、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる人材を育成することを趣旨として設けられた公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「日本スポーツ協会」という）が認定する資格です。

本学はスポーツ科学部を対象に、2016年度から、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース」の承認校として認定されています。本学で定めたコースに基づき単位を修得すると、以下の資格および受験資格を取得することができます。

本学で開設された科目の履修により取得できる資格および受験資格（以降、まとめて、「免除適応コース」と呼ぶ）

①「スポーツコーチングリーダー」（スポーツ指導者基礎資格）

②「共通科目Ⅲ」免除適応資格

※日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を取得する際に必要となります。

※本資格は在学中のみ申請可能であり、卒業後に申請する場合は新たに所定の講習等を受け直す必要があります。

③「ジュニアスポーツ指導員」受験資格

④「アシスタントマネジャー」受験資格

⑤「水泳コーチ3」受験資格

⑥「ホッケーコーチ3」受験資格

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

①「スポーツコーチングリーダー」および ②「共通科目Ⅲ」免除適応資格

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、「スポーツコーチングリーダー」および共通科目検定試験（以下、「オンラインテスト」という）の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	A群	スポーツ基礎演習	4	11科目の単位を 全て修得
		スポーツキャリア形成	4	
	B群	スポーツ哲学（体育原理を含む）	2	
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
		スポーツ経営学	2	
		スポーツ社会学	2	
		スポーツ心理学	2	
	C群	スポーツ医学	2	
		トレーニング論	2	
		スポーツ栄養学	2	
コース科目	生涯スポーツコース	b科目群	障がい者スポーツ論	2

※スポーツキャリア形成 = スポーツキャリア演習2

2023年度入学生（4年生）

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	基礎演習系	スポーツキャリア演習1	4	11科目の単位を 全て修得
		スポーツキャリア演習2	4	
	人文・社会科学系	スポーツ哲学（体育原理を含む）	2	
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
		スポーツ経営学	2	
		スポーツ社会学	2	
		スポーツ心理学	2	
	自然科学系	スポーツ医学	2	
		トレーニング論	2	
		スポーツ栄養学	2	
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	障がい者スポーツ論	2	

2024年度以降入学生（1～3年生）

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	基礎演習系	スポーツキャリア演習Ⅰ	2	13科目の単位を 全て修得
		スポーツキャリア演習Ⅱ	2	
		スポーツキャリア演習Ⅲ	2	
		スポーツキャリア演習Ⅳ	2	
	人文・社会科学系	スポーツ哲学（体育原理を含む）	2	
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
		スポーツ経営学	2	
		スポーツ社会学	2	
		スポーツ心理学	2	
	自然科学系	スポーツ医学	2	
		トレーニング論	2	
		スポーツ栄養学	2	
	スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	障がい者スポーツ論	

※スポーツキャリア演習Ⅰ・Ⅱ = スポーツキャリア演習1

スポーツキャリア演習Ⅲ・Ⅳ = スポーツキャリア演習2

③「ジュニアスポーツ指導員」

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	B群	スポーツ心理学	2	5科目の単位を 全て修得
	C群	スポーツ医学	2	
		スポーツ栄養学	2	
コース科目	生涯スポーツコース	b科目群 子どもスポーツ論	2	
		c科目群 生涯スポーツ演習（子どものスポーツ活動）	2	
キャリア形成科目	A群	種目別コーチング演習1（陸上競技：短距離・障害）	4	種目別コーチング演習 1～13 から、いずれか1科目の単位を 修得 ※科目廃止にともない、2024 年度までに「種目別コーチング 演習1～13」を修得していな い場合、2025年度以降は 「スポーツ指導実践」を修得し てください。
		種目別コーチング演習2（陸上競技：長距離・駅伝）	4	
		種目別コーチング演習3（水泳）	4	
		種目別コーチング演習4（スケート）	4	
		種目別コーチング演習5（バスケットボール）	4	
		種目別コーチング演習6（サッカー）	4	
		種目別コーチング演習7（ラグビー）	4	
		種目別コーチング演習8（ホッケー）	4	
		種目別コーチング演習9（バレーボール）	4	
		種目別コーチング演習10（ソフトボール）	4	
		種目別コーチング演習11（柔道）	4	
		種目別コーチング演習12（レスリング）	4	
		種目別コーチング演習13（空手道）	4	

2023年度以降入学生（1～4年生）

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系	スポーツ心理学	2	6科目の単位を 全て修得
	自然科学系	スポーツ医学	2	
		スポーツ栄養学	2	
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	子どもスポーツ論	2	
キャリア形成科目	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習（子どものスポーツ活動）	2	
	キャリアアップ系	スポーツ指導実践	2	

④「アシスタントマネジャー」

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	B群		スポーツ経営学	2	2科目の単位を 全て修得
コース科目	生涯スポーツコース	a 科目群	地域スポーツ論	2	

2023年度以降入学生（1～4年生）

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系		スポーツ経営学	2	2科目の単位を 全て修得
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系		地域スポーツ論	2	

⑤「水泳コーチ3」コース

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科の単位を修得することで、「水泳コーチ3」検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	C群		スポーツバイオメカニクス	2	3科目の単位を 全て修得
	D群	a 科目群	実技実習 a（水泳・水中運動）	1	
キャリア形成科目	A群		種目別コーチング演習3（水泳）	4	

※2024年度までに「種目別コーチング演習3（水泳）」を修得していない学生は「コーチング演習（水泳） I・II」を修得すること。

2023年度以降入学生（1～4年生）

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	自然科学系		スポーツバイオメカニクス	2	4科目の単位を 全て修得
	実技実習系	a 群	実技実習 a（水泳・水中運動）	1	
キャリア形成科目	キャリアアップ系		コーチング演習（水泳） I	2	
			コーチング演習（水泳） II	2	

⑥「ホッケーコーチ3」コース

次表に掲げるスポーツ学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	D群	b 科目群	実技実習 b (ホッケー)	1	4科目の単位を 全て修得
コース科目	競技スポーツコース	c 科目群	競技スポーツ演習 (ゲーム分析)	2	
			競技スポーツ演習 (傷害)	2	
キャリア形成科目	A群		種目別コーチング演習8 (ホッケー)	4	

※2024年度までに「種目別コーチング演習3 (ホッケー)」を修得していない学生は「コーチング演習 (ホッケー) I・II」を修得すること。

2023年度以降入学生 (1～4年生)

区 分			授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	実技実習系	b 群	実技実習 b (ホッケー)	1	5科目の単位を 全て修得
キャリア形成科目	競技スポーツ演習系		競技スポーツ演習 (ゲーム分析)	2	
			競技スポーツ演習 (傷害)	2	
	キャリアアップ系		コーチング演習 (ホッケー) I	2	
			コーチング演習 (ホッケー) II	2	

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

①から⑥の資格を取得するためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

①「スポーツコーチングリーダー」および②「共通科目Ⅲ」免除適応資格

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 各自で指導者マイページを作成していること。
- ウ) 各自でリファレンスブック (4,400円) を購入していること。
- エ) 在学中に大学を通して受講完了申請 (無料) を行っていること。
- オ) 各自で「共通科目Ⅲ」オンラインテスト (無料) に申込を行い、合格していること。
- カ) 各自で資格登録 (資格認定) の手続きを完了すること。

③「ジュニアスポーツ指導員」および④「アシスタントマネジャー」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 上記②「共通科目Ⅲ」の免除適応資格を得ていること、または同時に申請していること。
- ウ) 在学中に大学を通して受講完了申請 (無料) を行っていること。
- エ) 大学を通して専門科目検定試験の受験申込 (3,300円) を行い、合格していること。
- オ) 各自で資格登録 (資格認定) の手続きを完了すること。

⑤「水泳コーチ3」および⑥「ホッケーコーチ3」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 上記②「共通科目Ⅲ」の免除適応資格を得ていること、または同時に申請していること。
- ウ) 在学中に大学を通して受講完了申請 (無料) を行っていること。
- エ) 各連盟または協会が開催する専門科目検定試験に合格していること。
- オ) 各自で資格登録 (資格認定) の手続きを完了すること。

●申請方法

ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。(UNIPA等を通じて通知されます。)

イ)「受講完了申請」は大学が一括して申請します。

ウ)「受講完了申請」は年2回あります。資格認定日が異なるため注意してください。

・8月1日～9月30日まで(資格認定は翌年度の4月1日)

・2月1日～3月31日まで(資格認定は翌年度の10月1日)

●資格申請に関わる費用

種別	金額
リファレンスブック代	4,400円
専門科目検定試験 検定料	3,300円
「共通科目Ⅲ」オンラインテスト受験料	無料
受験完了申請料	無料

以下の資格登録料は4年ごとに4年間分を一括納入する必要があります。

種別	金額	内容
基本料	10,000円/4年間	保有する資格数に関わらず、一律でかかる登録料
初期登録手数料	3,300円/1資格	その資格を初めて登録する際にかかる手数料
資格別登録料	スポーツコーチングリーダー	0円
	ジュニアスポーツ指導員	0円
	アシスタントマネジャー	0円
	水泳コーチ3	10,000円
	ホッケーコーチ3	4,000円

※上記の金額は2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

資格の有効期間は4年間と定められており、4年ごとに更新登録手続きが必要です。有効期限を過ぎても更新登録しない場合には、公認スポーツ指導者の資格を失うことになります。更新登録には、有効期限の6か月前までに所定の更新研修を受講しなければなりません。更新研修は、日本スポーツ協会、都道府県体育・スポーツ協会、中央・都道府県競技団体等が開催しています。

パラスポーツ指導員

(1) パラスポーツ指導員とは

公益財団法人日本パラスポーツ協会は、我が国におけるパラスポーツの普及と発展をめざして、パラスポーツの振興と競技力向上にあたるパラスポーツ指導員の資質と指導力の向上を図るため、「日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者制度」を制定しています。

本学スポーツ科学部は、2016年度から、「パラスポーツ指導員」資格の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、日本パラスポーツ協会が定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、「初級パラスポーツ指導員」「中級パラスポーツ指導員」の資格が取得できます。

①「初級パラスポーツ指導員」

地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者です。

②「中級パラスポーツ指導員」

地域におけるパラスポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で十分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者です。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

①「初級パラスポーツ指導員」

「初級パラスポーツ指導員」については、次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、資格要件を満たすことができます。

2022年度以前入学生

区分			授業科目名	単位数	履修条件
コース科目	生涯スポーツコース	b 科目群	障がい者スポーツ論	2	1科目の単位を修得

2023年度以降入学生（1～4年生）

区分			授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系		障がい者スポーツ論	2	1科目の単位を修得

②「中級パラスポーツ指導員」

「中級パラスポーツ指導員」は、「初級パラスポーツ指導員」資格に該当する科目に加え、次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得し、80時間以上のパラスポーツにおける活動実績があれば、「中級パラスポーツ指導員」の資格要件を満たすことができます。

2022年度以前入学生

区分			授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	B 群		スポーツ心理学	2	7科目の単位を修得
			スポーツ社会学	2	
	C 群		体力論	2	
			スポーツ傷害論	2	
コース科目	競技スポーツコース	a 科目群	障がい者競技スポーツ論	2	
		c 科目群	競技スポーツ演習（傷害）	2	
キャリア形成科目	C 群		生涯スポーツサポート演習 5（障がい者スポーツ）	2	

2023年度以降入学生（1～4年生）

区分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系	スポーツ心理学	2	7科目の単位を 修得
		スポーツ社会学	2	
	自然科学系	体力論	2	
		スポーツ傷害論	2	
スポーツ探究科目	競技スポーツ系	障がい者競技スポーツ論	2	
キャリア形成科目	競技スポーツ演習系	競技スポーツ演習（傷害）	2	
	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習 （障がい者スポーツ）	2	

※「生涯スポーツサポート演習5（障がい者スポーツ）」は2025年度から生涯スポーツ演習（障がい者スポーツ）に充当する科目が変更となります。

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

①「初級パラスポーツ指導員」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 在学中に大学を通して一括申請手続きをすること。

②「中級パラスポーツ指導員」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 在学中に大学を通して一括申請手続きをすること。
- ウ) 「活動実績証明書」のコピーを提出すること。（80時間以上のパラスポーツにおける活動実績が必要）

●申請方法

「初級・中級パラスポーツ指導員」資格に該当する単位を修得済みの者（卒業年次の場合は修得見込みの者も可）で、資格取得を希望する者に対してガイダンスを行います。

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。（UNIPA等を通じて通知されます）
- イ) 大学が一括して申請します。

●資格申請に関わる費用

区分	内訳		合計
①初級パラスポーツ指導員	申請・認定料	5,500円	9,300円
	登録料	3,800円	
②中級パラスポーツ指導員	申請・認定料	5,500円	9,300円
	登録料	3,800円	

※上記の申請等に関する金額は、2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

区分	有効期限	更新方法	費用
①初級パラスポーツ指導員	毎年4月1日から翌年 3月31日までの1年間	年度末に次年度登録更新の案内が「パラスポーツ協会」から個人宛に郵送されるため、案内に沿って入金を行います。	3,800円
②中級パラスポーツ指導員			

トレーニング指導者 (JATI)

(1) トレーニング指導者とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、「JATI」という）認定の資格です。「トレーニング指導者（JATI-ATI）」とは、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられており、対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。

本学スポーツ科学部は、2016年度から、JATIの「トレーニング指導者」養成校として認定され、JATIが定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、認定試験の受験資格を得ることができます。また、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「トレーニング指導者」の資格を取得できます。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、養成講習会の受講が免除され、養成校を対象としたトレーニング指導者認定試験を受験することができます。

2022年度以前入学生

区分		授業科目名	単位数	履修条件
共通科目	B群	スポーツ心理学	2	15科目の単位を全て修得 ※1 科目廃止にともない、2024年度までに「競技スポーツデータ論」を修得していない場合は、2025年度以降は「スポーツ指導実践」を修得してください。
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
	C群	スポーツ医学	2	
		スポーツ栄養学	2	
		体力論	2	
		スポーツ生理学	2	
		スポーツバイオメカニクス	2	
		トレーニング論	2	
		機能解剖学	2	
		スポーツ傷害論	2	
D群	a 科目群	実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）	1	
コース科目	競技スポーツコース	a 科目群	競技スポーツマネジメント論	2
			競技スポーツデータ論 ※1 2025年度以降廃止	2
		b 科目群	競技スポーツ栄養論	2
	生涯スポーツコース	b 科目群	健康体力論	2

2023年度以降入学生（4年生）

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系	スポーツ心理学	2	15科目の単位を 全て修得 ※1 科目廃止にともない、 2024年度までに「競技スポーツ データ論」を修得していない場合 は、2025年度以降は「スポーツ 指導実践」を修得してください。
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
	自然科学系	スポーツ医学	2	
		スポーツ栄養学	2	
		体力論	2	
		スポーツ生理学	2	
		スポーツバイオメカニクス	2	
		トレーニング論	2	
		機能解剖学	2	
		スポーツ傷害論	2	
実技実習系	a 群	実技実習a（トレーニング／体づくり運動）	1	
スポーツ探究科目	競技スポーツ系	競技スポーツマネジメント論	2	
		競技スポーツデータ論 ※1 2025年度以降廃止	2	
		競技スポーツ栄養論	2	
	生涯スポーツ系	健康体力論	2	

2024年度以降入学生（1～3年生）

区 分		授業科目名	単位数	履修条件
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系	スポーツ心理学	2	15科目の単位を 全て修得
		コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	
	自然科学系	スポーツ医学	2	
		スポーツ栄養学	2	
		体力論	2	
		スポーツ生理学	2	
		スポーツバイオメカニクス	2	
		トレーニング論	2	
		機能解剖学	2	
		スポーツ傷害論	2	
実技実習系	a 群	実技実習a（トレーニング／体づくり運動）	1	
スポーツ探究科目	競技スポーツ系	競技スポーツマネジメント論	2	
		競技スポーツ栄養論	2	
	生涯スポーツ系	健康体力論	2	
キャリア形成科目	キャリアアップ系	スポーツ指導実践	2	

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 「認定試験」に合格すること。
- ウ) 各自で「日本トレーニング指導者協会」入会手続きを行うこと。

●申請方法

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。(UNIPA等を通じて通知されます。)
- イ) 在学中は大学が一括して申請します。
- ウ) 卒業後に個人で申請することも可能です。

●資格申請に関わる費用

種別	金額	合計
認定試験受験料	33,000円	44,000円
日本トレーニング指導者協会会員登録料	年会費11,000円	

※申請等に関する金額は、2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

区分	有効期限	更新方法	費用
トレーニング指導者	5年間	継続単位を5年間で15単位以上取得することが必要。※1	22,000円

※1 継続単位は、日本トレーニング指導者協会が主催する各種研修会・ワークショップのほか、所定の自己学習活動、執筆・学会発表等の活動で取得することが可能です。

健康運動指導士、健康運動実践指導者

(1) 健康運動指導士、健康運動実践指導者とは

いずれの資格も「公益財団法人健康・体力づくり事業財団」が認定する資格となります。

本学スポーツ科学部は、2018年度から、健康・体力づくり事業財団の「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、健康・体力づくり事業財団が定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の認定試験の受験資格が得られ、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の資格を取得することができます。

①「健康運動指導士」

「保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成および実践指導計画の調整等を行う役割を担う者」とされています。

②「健康運動実践指導者」

「積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められる者」とされています。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、養成講習会の受講が免除され、養成校を対象とした認定試験を受験する資格が与えられます。

2022年度以前入学生

区分		授業科目名	単位数	①健康運動指導士	②健康運動実践指導者	
共通科目	C群	体力論	2	○	○	
		スポーツ栄養学	2	○	○	
		スポーツバイオメカニクス	2	○	○	
		機能解剖学	2	○	○	
		スポーツ医学	2	○	○	
		スポーツ生理学	2	○	○	
	D群	a 科目群	実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）	1	○	○
			実技実習 a（ダンス）	1	○	○
			実技実習 a（陸上競技：長距離）または実技実習 a（陸上競技）	1	○	○
			実技実習 a（水泳・水中運動）	1	○	○
コース科目	競技スポーツコース	b 科目群	トレーニング指導実習※	1	—	○
	生涯スポーツコース	b 科目群	健康体力論	2	○	○
			健康心理論 ※2 2025年度以降廃止	2	○	○
			運動処方論 ※1	2	○	○
		高齢者スポーツ論（要介護者を含む）	2	○	○	
		c 科目群	生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	○	○
	生涯スポーツ演習※（健康運動指導等研修（事前事後指導を含む））※4		2	○	—	
			合計	16科目	16科目	

○印は必修科目 ※この科目については集中講義にて開講 ※1 2024年度までに「運動処方論」を修得していない学生は「健康運動特別演習」の修得が追加となります。 ※2 科目廃止にともない、2024年度までに「健康心理論」を修得していない学生は「スポーツ心理学」を必ず修得してください。 ※4 2024年度までに「生涯スポーツ演習（健康運動指導等研修（事前事後指導を含む））」を修得して

いない学生は「健康運動指導等研修(事前事後指導を含む)」を修得すること。

2023年度以降入学生（4年生）

区分		授業科目名	単位数	①健康運動指導士	②健康運動実践指導者	
スポーツ基礎科目	自然科学系	体力論	2	○	○	
		スポーツ栄養学	2	○	○	
		スポーツバイオメカニクス	2	○	○	
		機能解剖学	2	○	○	
		スポーツ医学	2	○	○	
		スポーツ生理学	2	○	○	
	実技実習系	a群	実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）	1	○	○
			実技実習 a（ダンス）	1	○	○
			実技実習 a（陸上競技：長距離）または実技実習 a（陸上競技）	1	○	○
			実技実習 a（水泳・水中運動）	1	○	○
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	健康体力論	2	○	○	
		健康心理論 ※2 2025年度以降廃止	2	○	○	
		運動処方論 ※1	2	○	○	
		高齢者スポーツ論（要介護者を含む）	2	○	○	
キャリア形成科目	競技スポーツ演習系	競技スポーツ演習（個人心理）※3	2	○	○	
	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	○	○	
	キャリアアップ系	健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）※	2	○	—	
		トレーニング指導実習 ※	1	—	○	
			合計	17科目	17科目	

○印は必修科目 ※この科目については集中講義にて開講します。 ※1 2024年度までに「運動処方論」を修得していない学生は「健康運動特別演習」の修得が追加となります。 ※2 科目廃止にともない、2024年度までに「健康心理論」を修得していない学生は「スポーツ心理学」を必ず修得してください。 ※3 2025年度より「競技スポーツ演習（個人心理）」の修得が追加となります。

2024年度以降入学生（3年生）

区分		授業科目名	単位数	①健康運動指導士	②健康運動実践指導者	
スポーツ基礎科目	自然科学系	体力論	2	○	○	
		スポーツ栄養学	2	○	○	
		スポーツバイオメカニクス	2	○	○	
		機能解剖学	2	○	○	
		スポーツ医学	2	○	○	
		スポーツ生理学	2	○	○	
	人文・社会科学系	スポーツ心理学 ※2	2	○	○	
	実技実習系	a群	実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）	1	○	○
			実技実習 a（ダンス）	1	○	○
			実技実習 a（陸上競技：長距離）または実技実習 a（陸上競技）	1	○	○
実技実習 a（水泳・水中運動）			1	○	○	
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	健康体力論	2	○	○	
		運動処方論	2	○	○	
		高齢者スポーツ論（要介護者を含む）	2	○	○	
キャリア形成科目	競技スポーツ演習系	競技スポーツ演習（個人心理）※3	2	○	○	
	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	○	○	
	キャリアアップ系	健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）※	2	○	—	
		トレーニング指導実習 ※	1	—	○	
		健康運動特別演習 ※3	2	○	○	
合計				18科目	18科目	

○印は必修科目 ※この科目については集中講義にて開講します。 ※2 「健康心理論」の科目廃止にともない、履修科目が「スポーツ心理学」に変更となります。 ※3 2025年度より「競技スポーツ演習（個人心理）」及び「健康運動特別演習」の修得が追加となります。

2025年度以降入学生（1・2年生）

区分		授業科目名	単位数	①健康運動指導士	②健康運動実践指導者	
スポーツ基礎科目	自然科学系	体力論	2	○	○	
		スポーツ栄養学	2	○	○	
		スポーツバイオメカニクス	2	○	○	
		機能解剖学	2	○	○	
		スポーツ医学	2	○	○	
		スポーツ生理学	2	○	○	
	人文・社会科学系	スポーツ心理学	2	○	○	
	実技実習系	a群	実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）	1	○	○
			実技実習 a（ダンス）	1	○	○
			実技実習 a（陸上競技）	1	○	○
実技実習 a（水泳・水中運動）			1	○	○	
スポーツ探究科目	生涯スポーツ系	健康体力論	2	○	○	
		運動処方論	2	○	○	
		高齢者スポーツ論（要介護者を含む）	2	○	○	
キャリア形成科目	競技スポーツ演習系	競技スポーツ演習（個人心理）	2	○	○	
	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	○	○	
	キャリアアップ系	健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）※	2	○	—	
		トレーニング指導実習 ※	1	—	○	
		健康運動特別演習	2	○	○	
			合計	18科目	18科目	

○印は必修科目 ※この科目については集中講義にて開講します。

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

①「健康運動指導士」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 卒業または卒業見込みであること。
- ウ) 在学中に大学を通して申請を行い、認定試験に合格すること。
但し、卒業までに受験申込をしなかった場合は、卒業後4年以内に限り受験すること。エ) 各自で資格の登録を行うこと。

②健康運動実践指導者

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を4年前期までに修得していること。
- イ) 在学中に大学を通して申請を行い、指導実技試験および筆記試験に合格すること。但し、一度受験申込をし、受験資格を得た場合は、卒業後でも受験すること。
- ウ) 各自で資格の登録を行うこと。

●申請方法

「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の資格に該当する単位を修得済みの者に対して、資格取得希望者向けのガイダンスを行います。ガイダンスの実施日程は、UNIPAを通じて通知します。

●資格申請に関わる費用

認定試験の受験に伴う費用は以下のとおりです。

区分	受験料
①健康運動指導士	13,619円
②健康運動実践指導者	13,619円

認定試験に合格したのち、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」として登録を行う必要となります。登録料は、以下のとおりです。

区分	登録料
①健康運動指導士	25,300円
②健康運動実践指導者	25,300円

※上記の申請等に関する金額は、2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

区分	有効期限	更新方法	費用
①健康運動指導士	5年間	所定の講習会を受講すること	22,000円
②健康運動実践指導者			

JPSUスポーツトレーナー

(1) JPSUスポーツトレーナーについて

「JPSU スポーツトレーナー」とは、全国体育スポーツ系大学協議会（JPSU）が認定する資格であり、アスレティックトレーナー領域、フィットネストレーナー領域、ストレングス&コンディショニング領域などの共通領域（ケガの予防対応、救急対応）に体育・スポーツ系の特色である運動実践および指導が可能な能力を保証する資格です。この資格を取得することで、体育・スポーツを基軸とし広く社会に貢献できる人材となることを目指すことができます。本学スポーツ科学部は、2019年度から、全国体育スポーツ系大学協議会の「JPSUスポーツトレーナー」資格の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、全国体育スポーツ系大学協議会が定める対象科目に該当する科目の単位を修得し、指定される講習会を受講することで資格認定試験の受験資格を得ることができます。そして、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「JPSUスポーツトレーナー」の資格を取得することができます。

(2) 履修ルール

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得する必要があります。

2022年度以前入学生

区分		授業科目名	単位数	履修条件	備考	
キャリア 形成科目	B群	競技スポーツサポート演習6 (傷害) ※2024年度以降廃止	2	いずれか 1科目		
	B群	コーチング論 (運動学、運動方法学を含む)	2			
共通科目	C群	スポーツ心理学	2	○		
		体力論	2	○		
		スポーツ生理学	2	○		
		スポーツ栄養学	2	○		
		スポーツバイオメカニクス	2	○		
		機能解剖学	2	○		
		スポーツ医学	2	○		
	D群	a科目群	実技実習 a (トレーニング/体づくり運動)	1	○	
			実技実習 a (ダンス)	1	いずれか 1科目	①
			実技実習 a (器械運動)	1		
			実技実習 a (陸上競技:短距離・跳躍・投てき) ※2	1	いずれか 1科目	②
			実技実習 a (陸上競技:長距離) ※2	1		
			実技実習 a (水泳・水中運動)	1		
			実技実習 a (スケート)	1		
		b科目群	実技実習 b (バスケットボール)	1	いずれか 1科目	③
			実技実習 b (サッカー)	1		
			実技実習 b (ホッケー)	1		
			実技実習 b (バレーボール)	1		
			実技実習 b (テニス)	1		
			実技実習 b (ソフトボール)	1		
c科目群	実技実習 b (ラグビー) ※2025年度以降廃止	1	いずれか 1科目	④		
	実技実習 c (柔道)	1				
	実技実習 c (レスリング) ※2025年度以降廃止	1				
コース 科目	競技スポーツコ ース	b科目群	競技スポーツ体力論	2	○	
		競技スポーツ傷害論	2	○		
		トレーニング指導実習	1	※1	集中講義	
	生涯スポーツコ ース	c科目群	競技スポーツ演習 (体力)	2	○	
			競技スポーツ演習 (傷害)	2	○	
		b科目群	運動処方論	2	○	
			c科目群	生涯スポーツ演習 (高齢者・要介護者のスポーツ活動)	2	※1
生涯スポーツ演習 ※3 (健康運動等指導研修 (事前事後指導を含む))	2	いずれか 1科目	集中講義			
教職専門科目	教育実習 I	2				
			合計	19科目		

○印は必修科目 ※1 どちらか1科目を修得すること。 ※2 2025年度以降「実技実習a (陸上競技)」に科目名変更 ※3 2024年度

までに「生涯スポーツ演習（健康運動指導等研修（事前事後指導を含む））」を修得していない学生は「健康運動指導等研修(事前事後指導を含む)」を修得すること

2023年度以降入学生（3・4年生）

区分		授業科目名	単位数	履修条件	備考	
スポーツ 基礎科目	人文・社会科学系	コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	○	①～④ のうち 3科目	
		スポーツ心理学	2	○		
	自然科学系	体力論	2	○		
		スポーツ生理学	2	○		
		スポーツ栄養学	2	○		
		スポーツバイオメカニクス	2	○		
		機能解剖学	2	○		
		スポーツ医学	2	○		
	実技実習系	a群	実技実習a（トレーニング/ 体づくり運動）	1		○
			実技実習a（ダンス）	1		いずれか 1科目
			実技実習a（器械運動）	1		
			実技実習a（陸上競技：短距離・跳躍・投てき）※2	1		
			実技実習a（陸上競技：長距離）※2	1		いずれか 1科目
			実技実習a（水泳・水中運動）	1		
			実技実習a（スケート）	1		
		b群	実技実習b（バスケットボール）	1		いずれか 1科目
			実技実習b（サッカー）	1		
			実技実習b（ホッケー）	1		
			実技実習b（バレーボール）	1		
			実技実習b（テニス）	1		
実技実習b（ソフトボール）			1			
c群	実技実習b（ラグビー）※2025年度以降廃止	1				
	実技実習c（柔道）	1	いずれか 1科目			
	実技実習c（レスリング）※2025年度以降廃止	1				
実技実習c（空手道）	1					
スポーツ 探究科目	競技スポーツ系	競技スポーツ体力論	2	○		
		競技スポーツ傷害論 ※4 2025年度以降廃止	2	○		
	生涯スポーツ系	運動処方論	2	○		
キャリア形 成科目	競技スポーツ 演習系	競技スポーツ演習（体力）	2	○		
		競技スポーツ演習（傷害）	2	○		
	生涯スポーツ 演習系	生涯スポーツ演習 （高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	※1		
	キャリアアップ系	トレーニング指導実習	1	※1	集中講義	
健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）		1	いずれか 1科目	集中講義		
教職専門科目		教育実習 I	2	1科目		
			合計	19科目		

○印は必修科目 ※1 どちらか1科目を修得すること。※2 2025年度以降「実技実習a（陸上競技）」に科目名変更 ※4 科目廃止にともない、2024年度までに「競技スポーツ傷害論」を修得していない学生は「スポーツ傷害論」を必ず修得してください。

2025年度以降入学生（1・2年生）

区分		授業科目名	単位数	履修条件	備考	
スポーツ 基礎科目	人文・社会科学系	コーチング論（運動学、運動方法学を含む）	2	○		
		スポーツ心理学	2	○		
	自然科学系	体力論	2	○		
		スポーツ生理学	2	○		
		スポーツ栄養学	2	○		
		スポーツバイオメカニクス	2	○		
		機能解剖学	2	○		
		スポーツ医学	2	○		
		スポーツ傷害論	2	○		
	実技実習系	a 群	実技実習a（トレーニング/ 体づくり運動）	1	○	① ② ③ ④ ①～④のうち3科目
			実技実習a（ダンス）	1	いずれか1科目	
			実技実習a（器械運動）	1	いずれか1科目	
			実技実習a（陸上競技）	1		
			実技実習a（水泳・水中運動）	1		
			実技実習a（スケート）	1		
		b 群	実技実習b（バスケットボール）	1	いずれか1科目	
			実技実習b（サッカー）	1		
			実技実習b（ホッケー）	1		
			実技実習b（バレーボール）	1		
			実技実習b（テニス）	1		
c 群		実技実習c（柔道）	1	いずれか1科目		
		実技実習c（空手道）	1			
スポーツ 探究科目	競技スポーツ系	競技スポーツ体力論	2	○		
	生涯スポーツ系	運動処方論	2	○		
キャリア形 成科目	競技スポーツ 演習系	競技スポーツ演習（体力）	2	○		
		競技スポーツ演習（傷害）	2	○		
	生涯スポーツ 演習系	生涯スポーツ演習 （高齢者・要介護者のスポーツ活動）	2	※1		
	キャリアアップ系	トレーニング指導実習	1	※1	集中講義	
健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）		1	いずれか1科目	集中講義		
教職専門科目		教育実習 I	2	1科目		
			合計	19科目		

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 日本赤十字社などが認定するBLS (Basic Life Support ; 一次救命処置) に関する資格を取得すること。
- ウ) 修了認定講習会 (4年次後期に学外で開催予定) を受講した上で、認定試験 (運動実践・指導に関する課題と救急・予防対応に関する課題についての記述試験) に合格すること。
- エ) 各自でJPSUスポーツトレーナー養成カリキュラム適応科目修得証明書 (卒業を明記) を提出すること。

●申請方法

「JPSUスポーツトレーナー」の資格に該当する単位を修得済みの者 (もしくは修得見込みの者) に対して、資格取得希望者向けのガイダンスを行います。

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。(UNIPA等を通じて通知されます。) イ) 在学中または卒業後も大学から一括申請します。

●資格申請に関わる費用

種別	金額
修了認定講習会受講料 (検定料を含みます)	20,000円

※上記の申請等に関する金額は、2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

区分	有効期限	更新方法	費用
JPSU スポーツトレーナー	5年間	資格更新用報告書とBLS 資格のコピー (有効期限内のもの) を JPSU 事務局に提出することが必要。	11,000円

JFA公認Cライセンス

(1) JFA公認ライセンスとは

公益財団法人日本サッカー協会（以下、「JFA」という）は、アマチュアチームおよびアマチュアレベルの選手（子どもから大人）を指導できる人材を養成すると同時に、これから指導者としての基礎を築こうとする指導者を養成することを目的に、Cライセンスの養成講習会を開催しています。なお、本資格は、公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1（18歳以上）資格にもなっています。

本学スポーツ科学部は、2018年度から、JFAの「公認Cライセンス」養成講習会の開設が認められ、本学スポーツ科学部が定めた科目を所定の手続きを経て履修し、定められた合格基準を満たすことで、資格を取得することができます。

(2) 履修ルール

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目を履修する必要があります。

2022年度以前入学生

区分		授業科目名	単位数
キャリア形成科目	A群	種目別コーチング演習6（サッカー）	4

※2024年度までに「種目別コーチング演習6（サッカー）」を修得していない学生は「コーチング演習（サッカー）Ⅰ・Ⅱ」を修得すること。

2023年度以降入学生（1～4年生）

区分		授業科目名	単位数
キャリア形成科目	キャリアアップ系	コーチング演習（サッカー）Ⅰ	2
		コーチング演習（サッカー）Ⅱ	2

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) UNIPA等で示された指定の期間にJFA IDを取得し、教材費およびJFA納付金を支払っていること。
- イ) (2) で示された科目の履修中に、指導実践、筆記試験、実技レベル等の合格基準を満たしていること。
- ウ) 合格基準を満たした後、初年度指導者登録費を支払っていること。

●申請方法

資格取得条件を満たした者に対して周知します。（UNIPA 等を通じて通知されます。）

●資格申請に関わる費用

種別	金額	備考
教材費	12,100円	履修前
JFA納付金	2,200円	履修前
初年度登録費	5,000円	合格基準を満たした後

※受講費33,000円は免除されます。

※上記の申請等に関する金額は、2024年度4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

区分	有効期限	更新方法
Cライセンス	4年間	指導者登録料（5,000円／年）を支払い、リフレッシュポイントを4年間で40ポイント獲得することが必要。

LNTレベル1インストラクター

(1) LNTレベル1インストラクターとは

LNTレベル1インストラクターは特定非営利活動法人リープノートレースジャパンが、アウトドアの最前線に立つ指導者、管理者のために発行する環境倫理の資格です。例えば、アウトドアガイド、キャンプカウンセラー、アウトドアセンタースタッフ、学校教員など、参加者、生徒に対してLNTワークショップや、日常的な野外指導を通じて、LNTを伝える役割を担っています。

本学スポーツ科学部は、2025年度から、「LNTレベル1インストラクター」資格の養成講習の開設が認められ、本学に開設する授業科目のうち、リープノートレースジャパンが定める対象科目に該当する科目の単位および実習を修得すると、「LNTレベル1インストラクター」の資格が取得できます。

(2) 履修ルール

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目を履修する必要があります。

2022年度以降入学生および2023年度以降入学生（1～4年生）

区分		授業科目名	単位数
スポーツ基礎科目	人文・社会科学系	野外活動・教育論	2
キャリア形成科目	生涯スポーツ演習系	生涯スポーツ演習（野外活動・教育）	2

※「生涯スポーツ演習（野外活動・教育）」の多数ある活動の選択において、1泊2日のLNTレベル1インストラクターの資格取得コースに係る実習を選択すること。

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) 実習前に、教材費を支払っていること。
- イ) (2) で示された科目にて、全16時間、内フィールドワーク（野外環境）10時間以上の基準を満たしていること。
- ウ) (2) で示された科目の履修中に、7原則の理解、1人1回以上のティーチング等の基準を満たしていること。

●申請方法

「LNTレベル1インストラクター」資格に該当する取得条件を満たした者で、資格取得を希望する者に対してガイダンスを行います。

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。
- イ) ガイダンスを通じて、各自で資格の登録を行うこと。

●資格申請に関わる費用

種別	金額	備考
教材費	1,200円	実習前
プログラム運営費	実費	研修中
登録費・年会費	5,000円	合格基準を満たした後

※上記の申請等に関する金額は、2024年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

※実習等にてかかる実費は各自負担となります。

(4) 有効期間と更新について

区分	有効期限	更新方法
LNTレベル1インストラクター	2年間	年間登録料（5,000円／年）を支払い、所定の講習会を受講することで更新することができる

4年間の学習の成果を資格取得につなげてみませんか？

コーチの資格（水泳・サッカー・ホッケー）では希望者全員が資格を取得している実績があります。日本スポーツ協会のジュニアスポーツ指導員やアシスタントマネージャーについても合格率は90%以上を超えています。難易度の高い資格もありますが、2024年度（2025年3月18日現在）にJATI 1名、健康運動実践指導者1名、健康運動指導士 1名の合格者が出ています。

2025年度からはアウトドアガイド、キャンプカウンセラー、アウトドアセンタースタッフ、学校教員など、参加者、生徒に対してLNTワークショップや、日常的な野外指導を通じて、LNTを伝える役割を担う、LNTレベル 1 インストラクターの資格も取得できるようになりました。

8月（予定）には集中講義にてコーチング演習（サッカー）Ⅰ・Ⅱを開講します。この科目を履修し、試験に合格することでJFA公認Cライセンスの指導者資格を取得することができます。2025年度は21名が資格を取得しました。また、卒業生には在学中に資格を取得し、リーグ下部組織に指導者として就職した卒業生もあり、資格取得が就職につながっているケースもあります。

なお、日本スポーツ協会の「共通科目Ⅲ」を取得すると、別途、専門科目講習を受講し、合格することで、本学では取得できない競技のコーチ資格等を取得することができます。共通科目Ⅲは在学中にしか取得申請ができないため、（在学中に取得申請をしていない場合、卒業後、すべての科目を受講し直す必要が生じます）在学中に取得することを推奨しています。